

令和7年度 シラバス

愛媛県立南宇和高等学校

教科	情報	科目	情報 I	単位数	2
年組	1年2・3組		教科書(発行所)		情報 I 図解と実習(日本文教出版)
月	学習内容	学習の具体的な内容	評価の観点		
			知	思	態
4	オリエンテーション	教科『情報』で何を学ぶか	○		○
	情報社会を見渡してみよう	SNSの普及と情報モラル		○	
		情報社会を支える法律	○		
		情報通信技術で変わる社会			○
5		(中間考査)	○	○	
	メディアとコミュニケーション	コミュニケーションとメディアの変遷	○		
		コミュニケーション手段の多様化	○	○	
		ネット上のコミュニケーションの特徴		○	
		ソーシャルメディアの活用と注意点	○	○	
6	情報デザイン	情報デザインの基本	○	○	
		誰にとってもわかりやすい情報デザイン	○		○
7		(期末考査)	○	○	
					教科書とワークブック(サブノート)を使い、これらに沿って授業を進める。授業ではタブレットを使う。また、必要に応じてインターネット教室でパソコンを使用することもある。各自が様々な実習課題に取り組むことで理解を深める。
7		オリジナルWebサイト制作	○		○
		〃		○	○
		〃			○
8・9	情報のデジタル化	デジタルデータと2進法	○		
		文字・音のデジタル化		○	
9		画像のデジタル化		○	
		動画のデジタル化		○	
		圧縮のしくみ			○
		(中間考査)	○	○	
	コンピュータのしくみ	コンピュータの基本的な構成	○	○	
10		CPUとメインメモリ	○		
		CPUの演算のしくみ		○	
	アルゴリズムとプログラム	ものごとの手順とアルゴリズム		○	
		アルゴリズムの図式化		○	
11		フローチャートであらわす	○		
		プログラミングとプログラミング言語	○		
		プログラミングの構造		○	
12		(期末考査)	○	○	
					＜知識・技能＞ 情報化の進展する社会と人間の関わりを理解し、問題の解決のために情報を活用するための技能を身に付けている。 ＜思考力・判断力・表現力＞ 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見や解決に向けて情報を適切かつ効果的に用いている。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ 問題の発見や解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価して改善しようとしている。
12		プログラミング実習	○		○
		〃		○	○
		〃		○	○
	モデル化とシミュレーション	モデルを利用した問題解決	○		
1		モデルを使ったシミュレーション		○	
	情報通信ネットワーク	情報通信ネットワークのしくみ		○	
		IPアドレスとプロトコル		○	
		WWWと電子メール	○		
2	情報システム	個人認証と暗号化		○	
		情報サービスを支える情報システム		○	○
		(学年末考査)	○	○	
	データの活用	データベース	○	○	
3		データの活用とデータモデル		○	
	一年間のまとめ	さらに深く学ぶために			○
【備考】					
※ 評価の観点は愛媛県立学校評価の手引(愛媛県教育委員会)による。					
					定期考査だけでなく、提出された実習課題やサブノート等をみて評価する。また、観点別評価(A・B・C)と100点法による評価を行い、学年末において5段階評定に総括する。